

コマンドリファレンス

2020年10月13日 X507017-1 株式会社データ・テクノ

2007年1月18日 株式会社データ・テクノ

■■ コマンド一覧 ■■

W	Write	書き込みオープン	書き込み用にファイルオープン。(上書・生成)
A	Append	追加書き込みオープン	書き込み用にファイルオープン。(追加)
R	Read	読み込みオープン	読み込み用にファイルオープン。
P	Put	書き込み	
G	Get	読み出し	
C	Close	クローズ	ファイルクローズ。
E	Erase	全ファイル消去	

■■ 各コマンド説明 ■■

■ 書き込みオープン (Write)

【解説】

指定されたファイルが存在しない場合は、新しいファイルを作成し、書き込みのためにオープンします。

指定されたファイルが存在する場合は、上書きのためにオープンします。この場合は、ファイルに存在したデータは全て失われ、ファイルの先頭から書き込みが始まります。

書き込みのためにオープンできるファイルは、同時に1個だけです。

読み込みのためにオープンしているファイルがあっても、書き込みのためにファイルをオープンすることは出来ません。

既に(読み込みのために)オープンしているファイルは、オープンすることは出来ません。

【コマンド】

W	:	N	N	N	...	CR
----------	---	----------	----------	----------	-----	-----------

N ...	<p>オープンするファイル名を指定します。</p> <p>英小文字は英大文字(例えば「a」は「A」)に変換されます。</p> <p>ファイル名として使用出来る文字は「ファイル名に使用出来る文字」の項を参照してください。</p> <p><長いファイル名:SDロガーV400X以降> 指定できる文字数は120文字以下です。</p> <p>「.(ピリオド)」は任意の位置に複数個含めることが出来ます。</p> <p><短いファイル名:SDロガーV398X以前/CFロガー> 拡張子が必要な場合は「.(ピリオド)」も含めて指定します。</p> <p>指定できる文字数は、拡張子を除くファイル名(ベース名)8文字以下、拡張子3文字以下です。</p>
--------------	---

【応答】

S	S	S	CR
---	---	---	----

SSS	下記のステータスコードが返されます。
000	正常終了。
E01	指定されたファイル名が正しくありません。
E02	既に書き込みオープンされているファイルがあります。 既に(読み込みのために)オープンしているファイルを、オープンしようとした。
E04	カードが挿入されていません。

■追加書き込みオープン(Append)

【解説】

既に存在するファイルを、追加書き込みのためにオープンします。ファイルに存在した最後のデータの、そのつぎから書き込みが始まります。
書き込みのためにオープンできるファイルは、同時に1個だけです。
読み込みのためにオープンしているファイルがあっても、書き込みのためにファイルをオープンすることは出来ます。
既に(読み込みのために)オープンしているファイルは、オープンすることは出来ません。

【コマンド】

A	:	N	N	N	...	CR
---	---	---	---	---	-----	----

N...	<p>オープンするファイル名を指定します。 英小文字は英大文字(例えば「a」は「A」)に変換されます。 ファイル名として使用出来る文字は「ファイル名に使用出来る文字」の項を参照してください。 <長いファイル名:SDロガーV400X以降> 指定できる文字数は120文字以下です。 「.(ピリオド)」は任意の位置に複数個含めることが出来ます。 <短いファイル名:SDロガーV398X以前/CFロガー> 拡張子が必要な場合は「.(ピリオド)」も含めて指定します。 指定できる文字数は、拡張子を除くファイル名(ベース名)8文字以下、拡張子3文字以下です。</p>
-------------	---

【応答】

S	S	S	CR
---	---	---	----

SSS	下記のステータスコードが返されます。
000	正常終了。
E01	指定されたファイル名が正しくありません。
E02	既に書き込みオープンされているファイルがあります。 既に(読み込みのために)オープンしているファイルを、オープンしようとした。
E03	指定されたファイルが見つかりません。
E04	カードが挿入されていません。

■読み込みオープン(Read)

【解説】

ファイルを読み出しのためにオープンします。
 読み出しのためにオープンできるファイルは、同時に1個だけです。
 書き込みのために開いているファイルがあっても、読み出しのためにオープンをすることは出来ません。
 既に(書き込みのために)オープンしているファイルは、オープンすることは出来ません。

【コマンド】

R : N N N . . . CR

N . . . オープンするファイル名を指定します。
 英小文字は英大文字(例えば「a」は「A」)に変換されます。
 ファイル名として使用出来る文字は「ファイル名に使用出来る文字」の項を参照してください。
 <長いファイル名:SDロガーV400X以降>
 指定できる文字数は120文字以下です。
 「.(ピリオド)」は任意の位置に複数個含めることが出来ます。
 <短いファイル名:SDロガーV398X以前/CFロガー>
 拡張子が必要な場合は「.(ピリオド)」も含めて指定します。
 指定できる文字数は、拡張子を除くファイル名(ベース名)8文字以下、拡張子3文字以下です。

【応答】

S S S CR

SSS	下記のステータスコードが返されます。
000	正常終了。
E01	指定されたファイル名が正しくありません。
E02	既に読み込みオープンされているファイルがあります。 既に(書き込みのために)オープンしているファイルを、オープンしようとしてしました。
E03	指定されたファイルが見つかりません。
E04	カードが挿入されていません。

■書き込み(Put)

【解説】

書き込みのためにオープンされているファイルに、「バイナリデータ」で転送されたデータを書き込みます。

【コマンド】

P : L L L CR バイナリデータ . . .

LLL 後に続くバイナリデータの長さ(バイト数)を3桁の16進文字で指定します。
 例:100バイト→「064」。
 指定できる長さは512バイト以下(=「200」)です。
 「0」は指定可能です。「0」を指定した場合は何も書き込まずにコマンドを終了します。

【応答】

S	S	S	CR
---	---	---	----

SSS	下記のステータスコードが返されます。
000	正常終了。
E01	512バイトを超える長さを指定された。 後に続くバイナリデータを1バイトも受信することなくコマンドを終了します。
E02	書き込みのためにオープンされているファイルが無い。 長さ指定が正しい場合は、後に続くバイナリデータを受信してコマンドを終了します。
E05	カードの空き領域が無く全部書き込めなかった。 長さ指定が正しい場合は、後に続くバイナリデータを受信してコマンドを終了します。

■読み込み(Get)

【解説】

読み込みのためにオープンされているファイルから、長さで指定したバイト分のデータを読み、「バイナリデータ」で転送されます。

読み込みの途中で、ファイルの終わりに到達した場合は、到達するまでのデータが転送されます。

既に終わりに到達しているファイルを読み込もうとした場合は、ステータスコード「D01」が返されます。

コマンドで、長さ「0」を指定した場合も、ファイルの最後に到達していれば「D01」が示されます。従ってファイルの最後に到達しているか調べるために、長さ「0」指定を指定してこのコマンドを発行することができます。

【コマンド】

G	:	L	L	L	CR
---	---	---	---	---	----

LLL	読み込みたいデータの長さ(バイト数)を3桁の16進文字で指定します。 例:100バイト→「064」。 指定できる長さは512バイト以下(=「200」)です。 「000」を指定することも出来ます。「000」を指定した場合は、データ転送が行なわれることはありません。
------------	--

【応答】

L L L CR バイナリデータ・・・

L L L	後に続く「バイナリデータ」の長さ(バイト数)が、3桁の16進文字で示されます。長さとして示されるのは512バイト以下(=「200」)です。データの読み込みの途中で、ファイルの終わりに到達した場合は、ファイルの終わりに到達するまでの長さが示されます。エラーなどが発生した場合は、下記に示すステータスコードが返されます。ステータスコードが返された場合は、後に続くデータ転送は行なわれません。コマンドで長さ「000」が指定され、返すべきステータスコードがない場合は「000」が返されます。「000」が返された場合は、後に続くデータ転送は行なわれません。
E 0 1	512バイトを超える長さを指定された。
E 0 2	読み込みのためにオープンされているファイルが無い。
D 0 1	既にファイルの終わりに到達している。

■クローズ(Close)

【解説】

オープンされているファイルを閉じます。

【コマンド】

C : M CR

M	書き込み用にオープンされているファイルを閉じる場合は「 W 」を指定します。読み込み用にオープンされているファイルを閉じる場合は「 R 」を指定します。
----------	--

【応答】

S S S CR

S S S	下記のステータスコードが返されます。
0 0 0	正常終了。
E 0 1	定義されていないパラメータが指定されました。
E 0 2	指定されたモードでオープンされているファイルはありません。

■全ファイル消去(Erase)

【解説】

存在する全てのファイルを消去します。
サブディレクトリが存在する場合も、サブディレクトリにあるファイルも全て消されます。
長い名前が使われているファイルなども全て消されます。
オープンされているファイルがある場合はクローズされ、それらのファイルも消去されます。

【コマンド】

E	:	*	.	*	CR
----------	----------	----------	----------	----------	-----------

*. *	パラメータとして必ず「*. *」を指定します。 これは、あまりにも短いコマンドで全てのファイルが消去されてしまう危険性を、少しでも軽減するためです。 その他のパラメータはサポートされていません。
-------------	---

【応答】

S	S	S	CR
----------	----------	----------	-----------

SSS	下記のステータスコードが返されます。
000	正常終了。
E01	定義されていないパラメータが指定されました。
E04	カードが挿入されていません。

■ファイル名に使用出来る文字

	2	3	4	5	6	7
0		0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	`	7	G	W	g	w
8	(8	H	X	h	x
9)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	

	使用出来る文字
	使用できない文字

※長いファイル名対応版<SDロガーV400X以降>は「. (ピリオド)」を複数個含むことが出来ます。

■■改訂履歴■■

2020/10/13	-1	SD ロガー4、V398X、V400X に対応。
------------	----	--------------------------